

あわら市名泉郷住みよい街を創る会（福井県）

活動地域

福井県あわら市から参りました、名泉郷住みよい街を創る会です。福井県は岐阜県と滋賀県の北側に位置しており、日本海側に面した東尋坊などで有名な所です。あわら市は、福井県の中でも最も北側に位置し、石川県境にあります。名泉郷は、市の東側、中山間にありまして、イノシシ、クマなどの野生動物、また降雪の多い所です。



名泉郷区は宅地開発業により、昭和 47 年、1,600 区画が造成され売り出されました。区内には県道 1 本と市道 52 本が通り、道路総延長は 16 キロになります。平成 25 年 4 月 1 日現在、212 世帯、599 人が居住しています。このほかにも別荘が 40 戸ほど建っております。

区内では現在もまだ売り出し中の宅地も数多く見られます。閑散とした道路を、ランドセルにクマ除けの鈴を付け、児童が登校している現状です。広大な造成地、59 万 2,000 平方メートルに点々と住宅が散在し、管理されていない区画では雑木が生い茂っています。人の目が届かない所も多く、特に児童を持つ親は治安上の不安を訴えていました。

ごみの不法投棄も散見されました。県道のみアクセスでインターと直近にある関係上、区内の道路を駐車場がわりに待ち合わせにして遊びに行く人も多く、見知らぬ車両の違法駐車に迷惑していました。こうしたことから、自分の街は自分たちで守ろう、自分の家は家族で守ろうという気運が高まってまいりました。

団体の概要

平成 14 年 1 月、治安に憂慮した有志 8 人が会の設立に向け準備委員会を立ち上げました。規約や細則などを整備して同志を募り、平成 15 年 3 月 16 日に設立総会を開催しました。名称を「名泉郷住みよい街を創る会」、略称を名創会と決定し、18 人の会員構成で発足しました。

当初は無料奉仕のみで、年間 1,000 円の会費を支払うということに抵抗もありましたが、全員で主旨を説明した結果、年々賛同者が増えて、現在では 122 人で運営しています。

名創会の歩み

- 平成 14 年 1 月、不安定な治安に憂慮した有志 8 人が会の設立に向け準備委員会を立ち上げました。
- 規約、細則等を整備して同志を募り、平成 15 年 3 月 16 日に設立総会を開催しました。
- 名称を「名泉郷住みよい街を創る会」、略称「名創会」と決定し、18 人の会員構成で発足しました。
- 当初は無料奉仕のうえ年間 1000 円の会費を払うということに抵抗もありましたが全員で趣旨を説明し勧誘した結果、賛同者が年々増えて、現在では 122 名で運営しています。

活動の概要～防犯

防犯活動



- 平成18年県警本部長より「青色回転灯装着車両認可」を受ける。
- 現在2車両に装着して巡回パトロールを実施。
- あわら警察署でパトロール講習(安全第一)を受けてから行動を開始。

活動は防犯、防火、生活安全保護、青少年健全育成支援、世代間親睦支援、地域振興など多方面にわたっています。

防犯隊は、会員有志で結成しました。平成16年6月26日、会費で車両に貼るステッカー、ジャンパー、帽子等をそろえ、あわら警察署生活安全課係長と地域の駐在所長を名泉郷会館に招き、結団式を行いました。

防犯活動



- 平成19年警察庁長官より
「地域安全安心ステーション」推進モデル事業実施団体の認可を受けました。防犯用具280点の無償貸与品を利用して現在活動しています。

防犯活動を続けている中、平成18年に県警本部長より青色回転灯装着車両の認定を受けました。現在2台の車両に装着して巡回パトロールを実施しております。あわら警察署でパトロール講習を受けてから、行動を開始しました。

平成19年、警察庁より地域安全安心ステーション推進モデル事業実施団体の指定を受けました。写真は貸与式に出向いたときの、あわら警察署正面玄関での集合写真です。280点の防犯用具の貸与を受け、新聞でも「より安全安心な名泉郷へ、警察庁がモデル指定、支援グッズを貸与」と大きく報道されました。

夜間定例防犯防火パトロール



防犯パトロールですが、区が第1自治会から、第2、第3自治会に分かれている関係上、第1分隊、第2分隊、第3分隊と隊を分け、それぞれに分隊長を配置して行っております。

夜間の定例防犯防火パトロールの出発では、午後7時に名泉郷会館へ集まりまして、集まった分隊から順次歩いてパトロールに出かけます。時間に間に合わなかった隊員の方は、自分の家の近くで拍子木の音が聞こえた時点で合流していただいています。防犯灯の球切れを見つけた場合には、すぐに電柱ナンバーを記入して、修繕依頼をするようにしております。会館へ帰ってから報告書を作成、当日の危険箇所の注意事

年末特別警戒パトロール



あわら警察署：出発式

項等を報告しています。

年末になると市内では、防犯団体、官民合同の年末特別警戒出発式があわら警察署において行われております。当隊も毎年出席しております。青パトを先頭にして、その後ろに続いて市内を警戒パトロールしております。

活動の概要～防火、生活安全促進

防火活動としましては、区内に消火栓設備74カ所、消火栓ホース格納ボックス11カ所があります。これらを有効に活用するため訓練をし、操法大会へも参加するなど、区と協力し積極的に推進しています。

女性隊員の消火栓操法訓練の集合写真です。毎年、嶺北消防署組合が主催する婦人消火栓操法競技大会において、平成17年、18年、平成23年の3回、優勝しています。初期消火の講習会は、嶺北消防署の協力を得て会館横の広場で実施しています。

生活安全促進活動としては、毎朝各隊員の協力のもと、名泉郷区より学校に向かう児童の見守り活動を行っています。また下校時刻に合わせて、犬の散歩や庭先の掃除などを行いながら、あいさつ運動を含めた見守り活動をしております。

名泉郷から金津東小学校までは8キロの道のりがあるため、子供たちはスクールバスで通学しています。名泉郷の中央部にある公園にスクールバスの停留所があり、四方から子供たちが集まってきます。写真は朝の見守り活動の風景です。このように集まってくるので、スクールバスが出発するときの乗降の安全を確認しています。冬季は、児童の安全を確保するため、バス停の除雪を行います。また、公園に1カ所トイレがありますが、その取付灯の除雪も行っております。

警察や防犯設備の専門家による防犯講習会を開いています。「一戸一灯運動」「ワンドア・ツーロック」「自分の家は自分で守ろう」を合言葉にしており、家族そろって講習会を受講される方も見えます。また希望される方には、

女性隊員の消火栓操法訓練



見守り活動



警察や防犯設備の専門家による防犯講習会



専門家に各家庭まで出向いていただき、個別にアドバイスを受けています。

AEDを名泉郷会館に設置しました。嶺北消防署の協力を得て、使用方法の講習会を随時開催し、多くの方が迅速に使用できるようにしています。名泉郷会館の出窓の部分に置きましたので、いざというときは窓ガラスを割って取り出すようにしています。台から落ちないように、またガラスが飛散ないように、簡単にテープ止めをしておりますが、注意してくださいと案内表示しています。



活動の概要～地域振興、青少年育成・世代間親睦

携帯電話とメールの安全教室



地域振興事業としては、NPO法人モバイルコミュニケーション関東から、2010年度のドコモ市民活動団体の認定を受け、助成金50万円を受領しました。パソコンと周辺機器を整備して、次のような事業を展開しました。

携帯電話とメールの安全教室をNTTドコモの協力を得て、専任講師を招いて開催しました。これからの時代、メールと携帯電話の無い生活は考えられませんから、安全な使用方法について教えていただきました。

インターネット安全教室は福井県安全環境部県民安全課の協力を得ました。専門講師を派遣していただき、インターネットの安全な使い方の講習を受けました。

土曜日にパソコン教室を実施しておりまして、子供からお年寄りまで参加しています。とにかく触ってみようということでやっています。会員の中にはパソコンの専門的な知識を持った方

がいらっしゃいますので、ハード面、ソフト面において講習を受けております。全て無料で実施しています。

インターネットの安全教室





青少年育成や世代間親睦事業にも取り組んでいます。子供たちにより思い出を作ってもらおうと餅つき会を行っております。小中学生、高校生から大人まで参加して、ついた餅をその場で丸めて試食会を含めた親睦会を開きます。70歳以上の家庭には福祉餅を配達して、そのお宅の健康状態を把握するとともに、コミュニケーションを図っています。また、サツマイモの苗を植えて、栽培体験もやっています。収穫したイモは、その場でふかしてみんなで食べたり、各家庭へ配布したりしています。



名創会だよりを出してありまして、その月の事業とか、翌月の行事を区の皆さん全員に周知しています。一人でも多くの方が、会に入っただけのように活動しております。

こうした活動実績から、あわら警察署より平成18年警察署長協議会会長の感謝状をいただき

きました。平成20年10月には福井県知事から表彰状を受けました。

今後も地域の安全安心と、青少年健全育成に向け、全員で取り組んでまいります。ありがとうございました。

質疑応答

●司会 発表の中で、青色防犯灯を装備した車両によるパトロールのお話がありました。青パトを導入する団体も増えていますが、費用面など難しい問題もあります。本日は日本財団に参加をしていただいております。青パトの導入にあたって助成事業をしておられますので、事業内容について簡単にご案内を差し上げたいと思います。よろしく願います。

○日本財団 日本財団では2007年より青パトの導入について助成事業をさせていただいています。現在まで全国130台近くの助成をさせていただいています。

今年度も例年どおり、助成の申請を受け付けております。通年で申請を受け付けていますので、お考えの団体さまがいらっしゃいましたら、日本財団のホームページ、あるいは検索画面から「チーム青パト」でホームページを見てみてください。

また、「青パトフォーラム」を開催しています。今年度は福岡で実施をする予定です。青パトを活用している団体が集まって、情報交換を行ったり、課題について検討を行ったりしていきたいと考えています。そちらも併せて財団ホームページからご覧いただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。